

平成29年度
岩手県国際リニアコライダー推進協議会
事業報告書

（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(1)調査・研究事業

- ア. イノベーション・経済波及効果調査の実施
- イ. 東北 ILC 準備室による地域の受入体制の準備に係る調査活動に参画
- ウ. ILC に関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出
- エ. 高エネルギー加速器研究機構（KEK）視察
- オ. その他

(2)国内・外への ILC 実現にむけた活動

- ア. 国内 PR の強化
- イ. 海外への情報発信強化
- ウ. 普及啓発活動

(3)要望・提言活動

(4)組織強化活動

- ア. 会員増強
- イ. 産・学・官・関係機関との連携
- ウ. その他

(5)広報活動

(6)諸会議等

(7)会員加入状況

(1) 調査・研究事業

ア. イノベーション・経済波及効果調査の実施

■イノベーション・経済波及効果調査委員会

設立目的：I L C実現による多面的な経済波及効果の算定に関する検討を行い、必要な意見及び助言を行うことを目的に平成 28 年 2 月に組織。

《イノベーション・経済波及効果調査委員会構成》平成 30 年 3 月 31 日現在

委員長 鈴木 厚 人（岩手県立大学 学長）
副委員長 齋 藤 雅 博（岩手県国際リニアコライダー推進協議会 副会長）
委員 山 下 了（東京大学素粒子物理国際研究センター 特任教授）
委員 吉 岡 正 和（東北大学・岩手大学 客員教授）
委員 成 田 晋 也（岩手大学理工学部 教授）
委員 佐々木 淳（岩手県理事兼政策地域部科学 ILC 推進室 室長）
委員 橋 本 良 隆（岩手県商工会議所連合会 専務理事）
委員 廣 田 淳（盛岡商工会議所 参与）

■イノベーション・経済波及効果調査委員会内作業部会等

経済波及効果を試算するに際し、幅広く検討するべく調査委員会内に作業部会を設置し、盛岡・仙台・東京や電話会議等で毎月（不定期）開催し、調査・検証等の作業を行った。

《イノベーション・経済波及効果調査委員会内作業部会構成》平成 30 年 3 月 31 日現在

部会長 山 下 了（東京大学素粒子物理国際研究センター 特任教授）
副部会長 成 田 晋 也（岩手大学理工学部 教授）
部会員 先端加速器科学技術推進協議会(AAA)
石 川 正（高エネルギー加速器研究機構 准教授）
松 岡 雅 則（三菱重工業株式会社）
原 田 俊 治（三菱電機株式会社）
原 哲 史（三菱電機特機システム株式会社）
東北 ILC 推進協議会
大 江 修（東北経済連合会 専務理事）
西 山 英 作（東経連ビジネスセンター センター長）
岩手県
佐々木 淳（岩手県理事兼政策地域部科学 ILC 推進室 室長）
岩手県国際リニアコライダー推進協議会
猿 川 毅（盛岡商工会議所 理事）
鈴 木 昭 博（盛岡商工会議所産業振興部 部長）
特別アドバイザー
増 田 寛 也（東京大学公共政策大学院 客員教授）
澤 田 潤 一（日本生産性本部 執行役員・公共政策部長）

①イノベーション・経済波及効果作業部会

平成 29 年 7 月 14 日（金）13:15～14:30／於：セントレ東北

出席者：山下部会長他 9 名

議 事：経済波及効果概要版について他

②イノベーション・経済波及効果作業部会

平成 29 年 8 月 1 日（月）10:00～15:00／於：東京大学素粒子物理センター

出席者：山下部会長他 8 名

議 事：経済波及効果概要版について他

③イノベーション・経済波及効果作業部会

平成 29 年 8 月 30 日（水）12:45～14:20／於：セントレ東北

出席者：山下部会長他 8 名

議 事：経済波及効果概要版について他

④イノベーション・経済波及効果調査の検証について

平成 29 年 9 月 11 日（月）15:00～16:15／於：東北大学

出席者：原部会員他 2 名

議 事：経済波及効果調査の検証について照井教授より指導を頂いた。

⑤イノベーション・経済波及効果調査の検証について

平成 29 年 9 月 29 日（金）12:55～14:30／於：岩手大学

出席者：原部会員他 2 名

議 事：経済波及効果調査の検証について横山教授より指導を頂いた。

⑥イノベーション・経済波及効果調査の検証について

平成 29 年 12 月 7 日（木）／於：東京大学

出席者：原部会員他 2 名

議 事：経済波及効果調査の検証について元橋教授より指導を頂いた。

⑦イノベーション・経済波及効果調査報告書について

平成 30 年 1 月 17 日（水）15:00～16:30／於：東京大学

出席者：山下作業部会長、原部会員他 1 名

議 事：基盤技術の発展・利用による産業の波及効果モデルについて打合せ。

⑧イノベーション・経済波及効果調査報告書について

平成 30 年 2 月 26 日（月）17:00～19:00／於：ホテルメトロポリタン盛岡

出席者：鈴木学長（調査委員長）、山下特任教授（作業部会長）、谷村会長、斎藤副会長、
橋本専務理事、廣田理事、大平企画理事、佐々木理事他

議 事：報告書のとりまとめの方向性について

⑨イノベーション・経済波及効果調査報告書について

平成 30 年 3 月 20 日（火）16:00～17:30／於：キャピトル東京

出席者：山下作業部会長、猿川事務局長他 1 名

議 事：報告書のとりまとめについて

イ. 東北 ILC 準備室による地域の受入体制の準備に係る調査活動に参画

①東北 ILC 準備室マスタープラン専門部会、広報部会、全体会議等

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで 21 回の開催。

ウ. ILC に関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会、東北 ILC 準備室と連携したセミナー

①第 1 回 ILC 技術セミナー（後援）

平成 29 年 5 月 24 日（水）13:30～／於：奥州市文化会館…廣田理事、猿川事務局長

主催：東北 ILC 準備室、いわて加速器関連産業研究会

内容：・ ILC イントロダクション

- ・ 超伝導加速空洞のための電解研磨技術の実際
- ・ 超伝導加速空洞のためのクリーンルーム技術の実際

②第 2 回 ILC 技術セミナー（後援）

平成 29 年 7 月 19 日（水）13:30～／於：岩手大学復興祈念銀河ホール…廣田理事、猿川事務局長

主催：東北 ILC 準備室、岩手大学、いわて加速器関連産業研究会

内容：・ 超伝導加速空洞の内面欠陥自動認識ソフトウェア

- ・ 超伝導加速空洞内面欠陥の局所研磨技術の実際
- ・ ダンピングリングに使われる超高速キッカー技術

③平成 29 年度いわて加速器関連産業研究会第 1 回チャレンジ部（後援）

平成 29 年 8 月 18 日（金）10:00～／於：岩手県先端科学技術研究センター

主催：東北 ILC 準備室、いわて加速器関連産業研究会、いわて産業振興センター

内容：・ 1 セルテスラ空洞の高周波特性の測定及び実習

④第 3 回 ILC 技術セミナー（後援）

平成 29 年 10 月 4 日（水）14:00～／於：気仙沼市地域交流センター

主催：東北 ILC 推進協議会、東北 ILC 準備室、いわて加速器関連産業研究会

内容：・ クライオンモジュールの組立技術

- ・ マグネットの検査試験技術、・ マグネットの製造技術

⑤第 4 回 ILC 技術セミナー（後援）

平成 29 年 11 月 28 日（火）13：30～／於：ベリーノホテルー関…廣田理事、事務局

主催：東北 ILC 推進協議会、東北 ILC 準備室、いわて加速器関連産業研究会

内容：・ 衝突点ビームフィードバックの技術・主リニアックのビーム位置モニター技術

- ・ データ転送技術と加速器の故障予知技術

⑥第 5 回 ILC 技術セミナー（後援）

平成 30 年 1 月 31 日（火）13：30～／於：マリオス 18F…廣田理事、猿川事務局長、事務局

主催：東北 ILC 推進協議会、東北 ILC 準備室、いわて加速器関連産業研究会

内容：・ 超電導加速空洞用パワーカップラー技術

- ・ 超電導加速空洞の高加速勾配・高 Q 値の技術

⑦合同技術展示会 in KEK（後援）

平成 30 年 2 月 27 日（火）11:00～／於：KEK…猿川事務局長

主催：いわて加速器関連産業研究会、いわて産業振興センター

内容：いわて加速器関連産業研究会とつくばものづくりオーケストラとの合同展示会。

岩手県内企業 7 社、茨城県内企業 11 社が出展。

⑧グリーン ILC セミナー（共催）

平成 30 年 3 月 14 日（火）～／於：アイーナ 7F…廣田理事、猿川事務局長、事務局

主催：岩手県

内容：・グリーン ILC（Denis 先生）、・サイトに特化したグリーン ILC 計画（吉岡先生）

・久慈バイオマスエネルギー供給事業、等

エ. 高エネルギー加速器研究機構（KEK）視察

平成 29 年 9 月 13 日（水）／於：高エネルギー加速器研究機構…橋本専務理事、廣田理事

主催：岩手県 ILC 推進協議会

内容：当協議会員 40 名にて、KEK を訪問。先端加速器試験、超電導リニアック試験施設等や COI 棟（超電導加速器利用促進化推進棟）を視察。



KEK の概要説明を受ける様子



早野教授による施設等の説明

オ. その他

①文部科学省有識者会議等情報収集

・有識者会議 平成 29 年 12 月 5 日（火）／於：文部科学省会議室

・素粒子原子核物理作業部会

第 1 回 平成 30 年 1 月 18 日（木）／於：文部科学省会議室

第 2 回 平成 30 年 2 月 5 日（月）／於：文部科学省会議室

第 3 回 平成 30 年 3 月 1 日（木）／於：文部科学省会議室

・技術設計報告書作業部会

第 1 回 平成 30 年 1 月 30 日（火）／於：文部科学省会議室

第 2 回、第 3 回は、公開が冒頭のみのため資料を岩手県科学 ILC 推進室から収集。

②新区界トンネル視察

平成 29 年 6 月 9 日（金）／於：新区界トンネル工事現場事務所等

…谷村会長、齋藤副会長、橋本専務理事

(2) 国内・外への ILC 実現にむけた活動

ア. 国内PRの強化

①「サイエンス×ハローキティ・プロジェクト」との連携

AAA と連携し、ILC を幅広く知って頂くため「サイエンス×ハローキティ」プロジェクトを支援。

当協議会会員事業所にて販売を行っているほか、ILC 関連講演会、シンポジウム、イベント等の会場にて販売を行った。



②「ニコニコ超会議」岩手県ブース内での ILC 関連PR

平成 29 年 4 月 29 日（土）～30 日（日）／於：幕張メッセ（千葉県）

主催：ニコニコ超会議 実行委員会／来場者数 15 万人（延べ）

内容 会場（岩手県ブース）での ILC 広報活動を実施。来場者に対し、ILC 計画の概要説明やサイエンス×ハローキティの ILC 普及啓発グッズの販売を行った。

③「VACUUM2017 真空展」主催者ブース内での ILC 計画特別展PR

平成 29 年 9 月 6 日（水）～8 日（金）／於：パシフィコ横浜（神奈川県）

主催：日本真空工業会、（一社）日本真空学会／来場者数：16,018 名（延べ）

内容：岩手県をはじめ関係機関と連携して実施。（）内は担当機関名。

・講演会：（参加者合計約 250 名）

1. ILC の超伝導加速器について 道園真一郎教授（KEK）

2. ILC 計画概要と産業振興の展望 吉岡正和岩手大学客員教授、大平岩手県企画理事

・ブースでのPR等

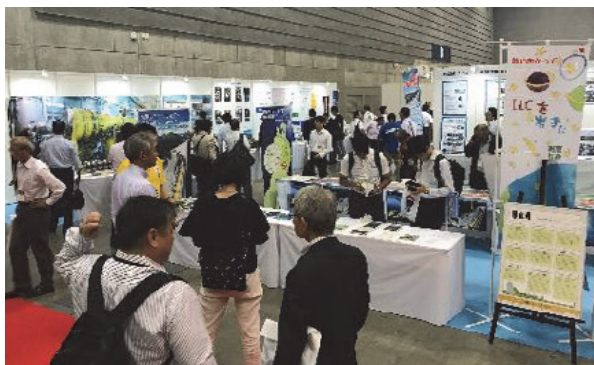
1. ILC 計画や加速器技術の紹介（KEK、AAA、岩手県、当協議会）

2. 東北地方の企業の参入取組紹介（東北 ILC 推進協議会、いわて産業振興センター）

3. 建設候補地域紹介（岩手県、宮城県、一関市、奥州市）

4. サイエンス×ハローキティグッズ等記念品販売（AAA）

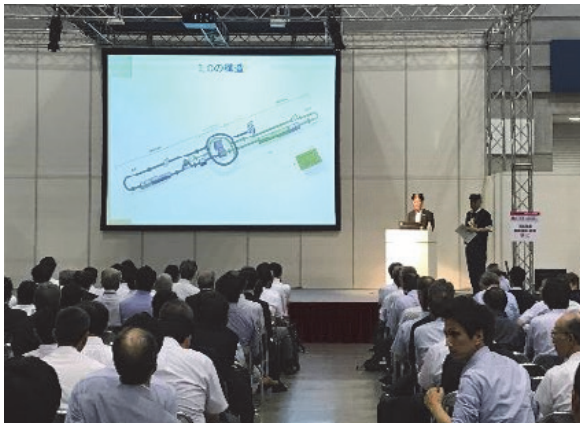
5. ミスさんさによる「盛岡さんさ踊り」の披露（当協議会）



展示会の様子



加速器関連技術の紹介



太平企画理事による講演



盛岡さんさ踊りの披露

④いわてサイエンスシンポジウム 2017 (いわてまると科学館)

平成 29 年 7 月 18 日 (月/祝) 10:00~17:00

於: いわて県民情報交流センター アイーナ

内容: ILC ブースにおいて、リーフレットやマンガ、パネル等を用い、来場者に ILC 実現にむけた取組等紹介したほか、抽選会 (宇宙食等) を行い、県民の関心を高めた。

⑤みんなで学ぼう! ILC~国際リニアコライダー~ (イオンモール盛岡南等と共催)

平成 29 年 7 月 29 日 (土) ~30 日 (日) / 於: イオンモール盛岡南

「専門家の先生から楽しく『ILC』を学ぼう」

講師 東北大学大学院准教授 佐貫 智行 氏

「もっと身近に『理系』に親しもう!!」

講師: 岩手大学工学部准教授 山口 明 氏、岩手大学工学ガールズ

内容: ソーラーカーを制作しよう!、液体窒素で遊ぼう等

「ILC を VR (バーチャルリアリティ) で体験しよう!」

講師: 岩手県立大学 (製作)

内容: ILC-VR により岩手県の地形や ILC、地層などをいろんな角度から覗いて体験。

その他: 素粒子を探すゲーム、ILC について学べる「パネル展」、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の展示等を開催。また、来場者には ILC うちわをプレゼント。



佐貫准教授による講演



会場内の様子

⑥いわて銀河フェスタ 2017 への協力（共催）

平成 29 年 8 月 19 日（土）／於：国立天文台水沢、奥州宇宙遊学館

内容：ILC ブースにおいて ILC 計画概要の説明やサイエンス×ハローキティの販売を行った。

⑦サイエンスシンポジウム 2017（いわてまると科学館 in 釜石）

平成 29 年 10 月 1 日（日）10：00～16：00

於：イオンタウン釜石

内容：岩手県等と出展し、ILC-VR の体験を通じ、子ども達等に VR の体験と ILC 計画の概要等を紹介した。



ILC-VR を体験する児童

⑧岩手県工業技術センター公開デー「ILC 展示紹介コーナー」への協力

平成 29 年 10 月 7 日（土）

於：岩手県工業技術センター

内容：高エネルギー加速器研究機構（KEK）の協力により「国際リニアコライダーってなんだろう？」と題する紙芝居によって、ILC や加速器、素粒子についてわかりやすく説明し、来場した親子連れ等の理解を深めた。
また、「サイエンス×ハローキティ」や「素粒子男子」のグッズ販売を行った。



紙芝居の様子

⑨わんだふお〜パーク ILC ブース出展支援（ブース来場者約 800 名）

平成 30 年 3 月 24 日（土）、25 日（日）10：00～16：00

於：岩手産業文化センターアピオ

主催：テレビ岩手

内容：岩手県、盛岡広域振興局とともに出展し、ILC-VR の体験を通して ILC 計画の概要等を紹介した。



会場内の様子

イ. 海外への情報発信強化

① DESY 研究者との意見交換会

平成 29 年 5 月 12 日（金）16:25～／於：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

…橋本専務理事、廣田理事、猿川事務局長、事務局

内容：岩手県が招聘した DESY（ドイツ電子シンクロトロン（素粒子物理研究所））の研究者
クラウド博士、トーマス博士と岩手県内 ILC 関係者との意見交換会、懇談会を実施。

主に受入環境の整備にむけ、交通・教育・医療について具体的なアドバイスを頂いた。



意見交換会の様子



研究者との記念撮影

② I L D meeting 2018in 一関の開催支援等（ILD meeting 2018 の開催概要）

日 時：平成 30 年 2 月 20 日（火）～22 日（木）、会 場：一関文化センター他

主 催：I L D meeting 2018 国際組織委員会、I L D meeting 2018 現地実行委員会

参加者：63 名（うち外国人 39 名）

内 容：ILC の測定器グループの研究者が一同に集い、主要なサブシステム、物理学的研究、分析ツール等に関し意見交換を行った。

※「I L D」とは、「International Large Detector＝インターナショナル・ラージ・ディテクター」の略。I L Cで行う電子と陽電子の衝突実験を測定する装置の名称。日本語に直訳すると「国際大型測定器」。

■ILD meeting 2018in 一関開催支援事業

ILD meeting 2018 開催を支援するとともに、地元岩手の魅力発信を行うために岩手県、一関市、奥州市、大船渡市、気仙沼市、岩手県 ILC 推進協議会等関係機関が連携し、以下の事業を協力して行った。

※以下協力団体

一関市観光協会

一関・平泉インアウトバウンド推進協議会

花巻農業高等学校



研究者による記念撮影

・国際会議開催に係る歓迎おもてなし事業

- 国際会議開催に係る補助金の交付（一関市）、宿泊予約の受付業務、参加登録受付の支援
- 歓迎横断幕設置、○会場までの案内看板を道路に設置（7基）
- 海外参加者向けの飲食店MAPの作成及び受入環境の整備（メニューの翻訳・11店舗）
- 会場内電源設備及び通信設備の整備、○受付時の配布物（各種冊子、一関水、ノベルティ）
- コーヒーブレイク時の菓子提供（一関市、奥州市、大船渡市、気仙沼市、花巻農高）



一ノ関駅から会場までの誘導看板



参加者登録、ホテルまでの案内等



コーヒーブレイクの用意



コーヒーブレイクの様子



会議の様子



駅構内の横断幕

・ウェルカムレセプション

平成 30 年 2 月 20 日（火）19：00～／於：蔵元レストランせきのいち

…ILD meeting 2018 参加者 63 名、開催地関係者 15 名、計 78 名

主催：一関市、共催：岩手県 ILC 推進協議会

内容：国際会議のウェルカムレセプションを一関市長招宴として開催。やまのめ国際キッズによる英語劇（テーマ：大槻玄沢と ILC 実現後の一関）の披露や餅つき体験を行い、研究者と開催地関係者等との交流を深めた。



齋藤副会長による乾杯



参加者全員での記念撮影

・バンケット（晩さん会）の開催支援

平成 30 年 2 月 21 日（水）19：30～／於：ベリーノホテル一関

…ILD meeting 2018 参加者 63 名、開催地関係者 12 名、計 75 名

主催：ILD meeting 2018 現地実行委員会

協力：一関市、奥州市、大船渡市、気仙沼市、岩手県 ILC 推進協議会

内容：研究者組織主催の晩さん会を開催支援。中里鶏舞踊り隊による神楽の披露やオリジナル酒杓の提供の他、食材の提供（一関市：地酒 4 蔵、奥州市：前沢牛、大船渡市：恋し浜ホタテ、気仙沼市：牡蠣）を行い、研究者と開催地関係者等との交流を深めた。



鶏舞演舞



ILD 代表者の Ties 氏による乾杯



「ILC そばっち」シールを貼付した缶飲料とオリジナル杓の提供



地元食材のおふるまい

③ ILC 英語版広報誌「THE KITAKAMI TIMES」の発刊（当協議会 WEB 内）

海外の研究者等へ ILC の候補地である北上サイトや ILC 実現に向けた地域の取組等を英語版の広報紙としてウェブ上に掲載し、北上サイトに対する理解や機運醸成につなげている。（英語版・日本語版）

平成 29 年度発刊状況

第 28 号「ILC トンネル建設に向けて」

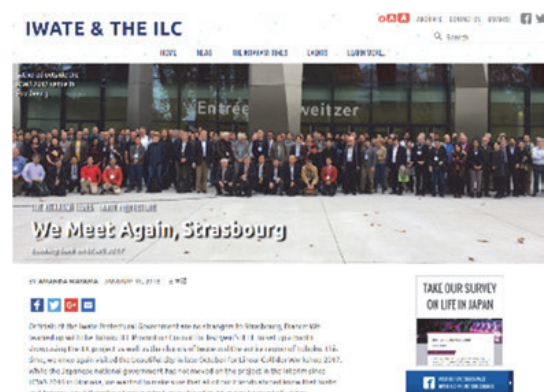
第 29 号「ILC で未来を拓く」

第 30 号「建設ルートに近い小学校で ILC の旗を掲げる」

第 31 号「山下特任教授とのインタビュー」

第 32 号「ILC リレーインタビュー久慈市」、第 33 号「岩手県立大学鈴木厚人学長インタビュー」

第 34 号「ILC で大船渡が舞台に立つ」、第 35 号「Green ILC の取組み」



④ ILC 広報戦略会議への参画

ILC の広報活動の強化のため、高エネルギー加速器研究機構、先端加速器科学推進協議会、東北 ILC 準備室、岩手県、岩手県 ILC 推進協議会が連携し、ILC 広報戦略会議を立ち上げ、情報を一元化して、国内外に発信するポータルサイト：ILC プロジェクトの検討を行った。

第 1 回 平成 30 年 1 月 19 日（金）15：00～17：00／於：AAA 会議室

第 2 回 平成 30 年 2 月 23 日（金）15：00～17：00／於：AAA 会議室

ウ. 普及啓発活動－①. 公開講演会等

① ILC 公開講演会 （参加者：約 200 名）

平成 29 年 9 月 27 日（水）15:00～／於：盛岡グランドホテル

主催：岩手県 ILC 推進協議会

講演：「ILC の現状と ILC を核とした地方創生について」

講師：山下 了 氏（東京大学 素粒子物理国際研究センター 特任教授）

講演：「東北 ILC 準備室の活動について」

講師：成田 晋也 氏（岩手大学理工学部 教授）

終了後、会員懇談会を開催



山下特任教授による講演



成田教授による活動報告

ウ. 普及啓発活動－②. 学生向け講演会

① 「ドイツ マインツ大学 齋藤 武彦 教授」による巡回特別授業

・平成 29 年 6 月 18 日（月）～6 月 24 日（土）

盛岡市、大船渡市、住田町、北上市、奥州市、
大槌町、釜石市、一関市、遠野市

小・中・高校等 18 講座

・平成 29 年 10 月 23 日（月）～10 月 28 日（土）

大船渡市、住田町、大槌町、釜石市、奥州市、
遠野市、洋野町、久慈市

中・高校等 14 講座



② ILC 特別講演会 （参加者：約 200 名、後援）

平成 29 年 10 月 4 日（水）14:40～16:10／於：一関工業高等専門学校

主催：（一社）国際経済政策調査会／一関工業高等専門学校

講演：「宇宙の謎を解く最先端科学技術」

講師：山下 了 氏（東京大学 素粒子物理国際研究センター 特任教授）

ウ. 普及啓発活動③. 講演会等（後援・協力等）

①ILC 講演会（参加者：約 150 名、後援）

平成 29 年 5 月 19 日（金）14:00～16:00／於：大船渡市民文化会館

主催：大船渡市

講演：「宇宙、ILC 計画、ILC 誘致に伴う地域への波及効果などについて」

講師：山下 了 氏（東京大学 素粒子物理国際研究センター 特任教授）

②平成 29 年度第 1 回加速器関連産業参入セミナー（後援）

平成 29 年 6 月 9 日（金）14:00～／於：アイーナ…廣田理事、猿川事務局長、事務局

主催：いわて加速器関連産業研究会

講演：「ILC 誘致に関する国内外の動向について」

講師：東北 ILC 推進協議会東北 ILC 準備室 室長、岩手県立大学 学長 鈴木 厚人 氏

講演：「地元企業参入事例紹介」

講師：NEC プラットフォームズ(株) シニアエキスパート 菊池 正 氏

一関工業高等専門学校 専攻科 鵜澤 知弘 氏、阿部 優樹 氏

講演：「東北放射光施設に関して」

講師：東北経済連合会 常務理事 事務局長 齋藤 幹治 氏

③ILC 誘致促進集会（参加者：約 600 名、後援）

平成 29 年 6 月 12 日（月）14:30～／於：大船渡市民文化会館リアスホール

主催：気仙地区商工団体連絡会

講演：「ILC の実現に向けて」

講師：佐々木 淳 氏（岩手県理事兼政策地域部科学 ILC 推進室長）

④学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2017 への協力（共催）

平成 29 年 7 月 17 日（日）／於：東北大学川内北キャンパス

内容：東北大学内の ILC ブースにおいて ILC 地形ジオラマの展示等協力を行った。

⑤ILC 講演会（参加者：約 100 名）

平成 29 年 8 月 23 日（水）15:30～／於：ホテルグランシェール花巻

主催：花巻商工会議所

講演：「ILC 誘致の見通しと中小企業の事業参入」

講師：吉岡 正和 氏（東北大学・岩手大学 客員教授）

⑥市民科学講演会（参加者：約 100 名）

平成 29 年 9 月 24 日（日）13:00～／於：アイーナ

主催：日本物理学会／岩手大学

講演：「宇宙の謎を解き明かす国際リニアコライダー」

講師：鈴木 厚人 氏（岩手県立大学 学長）

講演：「電子が凍る！」

講師：前野 悦輝 氏（京都大学 教授）

⑦奥州市 ILC 産業セミナー（参加者：約 100 名、後援）

平成 29 年 11 月 9 日（木）15:30～／於：ホテルニュー江刺新館イーズ
主催：奥州市、奥州市 ILC 推進連絡協議会
講演：「ILC 関連産業への参入に向けて」
講師：吉岡 正和 氏（東北大学・岩手大学 客員教授）
講演：「いわて加速器関連産業研究会の取組について」
講師：今 健一 氏（いわて産業振興センター ILC コーディネーター）

⑧市民講演会（参加者：約 50 名、後援）

平成 29 年 11 月 11 日（土）14:00～／於：岩手大学工学部テクノホール
主催：低温工学・超電導学会 東北・北海道支部
講演：「超電導を医療に活かす-MRI でここまでわかる-」
講師：佐々木 真理 氏（岩手医科大学医歯薬総合研究所 所長）
講演：「ホウ素中性子捕獲療法（BNCT）等の加速器を用いた医療応用」
講師：吉岡 正和 氏（東北大学・岩手大学 客員教授）

⑨ILC 講演会（参加者：約 200 名）

平成 30 年 1 月 19 日（金）15:30～／於：ホテルシティプラザ北上
主催：北上商工会議所
講演：「ILC の最近の動向と産業振興の展望」
講師：山下 了 氏（東京大学 素粒子物理国際研究センター 特任教授）
講師：吉岡 正和 氏（東北大学・岩手大学 客員教授）

⑩宮古商工会議所議員懇談会 ILC キャラバン（参加者：約 40 名、後援）

平成 30 年 1 月 22 日（月）14:00～／於：宮古商工会館
主催：宮古商工会議所
講演：「ILC の実現に向けて」
講師：佐々木 崇 氏（岩手県政策地域部科学 ILC 推進室主事）

⑪鬼の手会 記念講演会（参加者：約 40 名）

平成 30 年 2 月 16 日（金）18:00～／於：仙台市戦災復興記念館
主催：鬼の手会
講演：「ILC の実現にむけて」
講師：齋藤 雅博 氏（当推進協議会副会長）

⑫いわて I L C 加速器科学推進会議総会、記念講演会

平成 30 年 3 月 31 日（土）13:30～／於：奥州宇宙遊学館
講演：「ILC の実現にむけて」
講師：古舘 慶之 氏（岩手県県南広域振興局 副局長兼主席 ILC 推進監）

(3) 要望・提言活動

①岩手 ILC 懇談会

平成 29 年 6 月 19 日（月）／於：ホテルメトロポリタン盛岡

鈴木俊一衆議院議員、達増知事、鈴木厚人県立大学長、谷村会長、橋本専務理事、大平企画理事、佐々木理事ほか

②林 芳正文部科学大臣との面談

平成 29 年 9 月 1 日（金）／於：盛岡グランドホテル…谷村会長、橋本専務理事

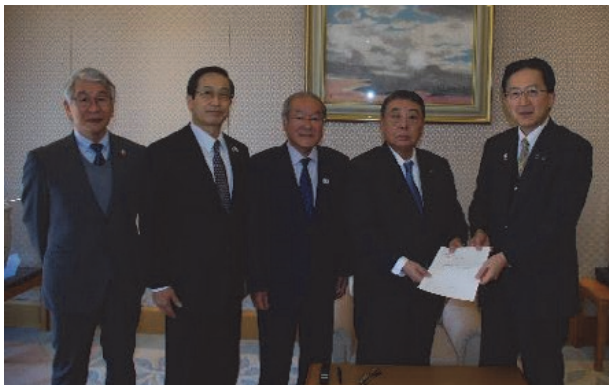
③地元選出国會議員・中央省庁への要望

平成 29 年 9 月 20 日（水）…谷村会長、齋藤副会長、県内会頭、橋本専務理事、猿川事務局長
要望先：地元選出国會議員、復興庁（関事務次官）、文部科学省（関研究振興局長）、中小企業庁（安藤長官）

④ILC の東北誘致に関する政・産・官・学連携要望

平成 30 年 2 月 7 日（水）…鈴木俊一衆議院議員、達増知事、鈴木厚人県立大学長、谷村会長、橋本専務理事、大平企画理事、佐々木理事ほか

要望先：大島 理森衆議院議長、リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟 河村 建夫会長、塩谷 立幹事長、文部科学省（新妻文科大臣政務官）



大島衆議院議長への要望



塩谷議連幹事長への要望

⑤三村 明夫日本商工会議所会頭との面談

平成 30 年 3 月 15 日（木）

於：帝国ホテル…谷村会長



三村日商会頭への説明

(4) 組織強化活動

ア. 会員増強

ILC 実現にむけた活動を強化するため関係機関と連携し、主に岩手県内を中心に会員増強活動を実施した。法人・団体会員 14 会員、個人会員 3 会員、計 17 会員の増加となった。

会員状況については別掲。

イ. 産・学・官・関係機関との連携

■東北経済連合会との連携

①バーチャル共同受注体と加速器コーディネーターチームの合同会議

平成 29 年 9 月 28 日（木）／於：KTP ガーデンシティ仙台…廣田理事、猿川事務局長

講演：「KEK における加速器建設の経験」

講師：吉岡 正和 氏（東北大学・岩手大学客員教授）

講演：「ILC の加速器技術」

講師：早野 仁司 氏（高エネルギー加速器研究機構教授）

②東経連フォーラムin岩手 2017

平成 29 年 10 月 4 日（水）／於：メトロポリタン盛岡ニューウイング

講演：「ILC 誘致による東北の地域活性化」

講師：増田 寛也 氏（東京大学公共政策大学院客員教授）

③科学技術イノベーション講演会

平成 29 年 12 月 1 日（金）／於：仙台国際ホテル

…谷村会長、橋本専務理事、廣田理事、猿川事務局長

講演：「ILC 実現に向けた最終コーナーにおける現状と課題」

講師：山下 了 氏（東京大学 素粒子物理国際研究センター 特任教授）

講演：「東北放射光計画が拓くリサーチコンプレックス」

講師：高田 昌樹 氏（東北大学 総長特別補佐）

■東北 ILC 推進協議会との連携

①第 1 回幹事会

平成 29 年 4 月 13 日（木）／於：セントレ東北…猿川事務局長

議事：平成 29 年度総会等の議事について（案）

②総 会

平成 29 年 4 月 28 日（金）／於：ウェスティンホテル仙台

…谷村会長、齋藤副会長、橋本専務理事、廣田理事、猿川事務局長

議事：H28 事業報告・決算、H29 事業計画・予算、誘致に関する決議（案）について

③意見交換会（東北 ILC 協議会 宇部代表補佐）

平成 29 年 6 月 6 日（火）／於：盛岡商工会議所…谷村会長、橋本専務理事、猿川事務局長

内容：今後の活動について

■東北 ILC 準備室との連携

政府の ILC 誘致決定に備え、東北地域の産学官民が密接に連携した、東北 ILC 準備室を東北 ILC 推進協議会の中に設置（H28.6.14）し、ILCに係る「地域広域基本計画」の策定をはじめ、地域の受入体制の準備を中核として、地域と日本の成長に資する方策に取り組む。

また、検討体制、専門的課題の検討を行うため、広報、地域受入体制、産業化、技術の四分野を中心に部会と地下施設、マスタープランの2専門部会を設置。

東北 ILC 準備室 構成員

室 長 鈴木 厚人（岩手県立大学学長）

副室長 大平 尚（岩手県企画理事）宇部文雄（東北 ILC 推進協議会代表補佐）

室 員 岩手県立大学、東北大学、岩手大学、岩手県、宮城県、仙台市、

東北経済連合会、岩手県国際リニアコライダー推進協議会

フェロー 山下 了（東京大学特任教授）、山本 均（東北大学教授）

準備室事務局長 大江 修（東北経済連合会専務理事）

①東北 ILC 準備室全体会議、マスタープラン専門部会、広報部会

各部会の進捗状況等や情報共有のため定期的に全体会議を開催。マスタープラン専門部会、広報部門部会など平成 29 年 4 月 11 日から平成 30 年 3 月 31 日まで仙台にて開催され、猿川事務局長が延べ 21 回出席した。

■サイエンスシンポジウム 2017 実行委員会との連携

①実行委員会設立総会

平成 29 年 4 月 25 日（火）／於：岩手県公会堂…事務局

概要：設立趣意書について

議事：役員選任、事業計画、収支予算について

②ワーキンググループ会議

平成 29 年 6 月 2 日（金）／於：岩手県庁…事務局

概要：シンポジウムの出展等について

③ワーキンググループ会議

平成 29 年 6 月 28 日（水）／於：岩手県庁…事務局

概要：シンポジウムのスケジュール等について

④実行委員会総会

平成 29 年 11 月 6 日（月）／於：岩手県民会館…事務局

概要：実績報告、収支決算等について

■岩手県政策地域部科学 ILC 推進室との連携

毎月 1 回、相互の活動状況の報告や今後の活動計画等について意見交換を実施。

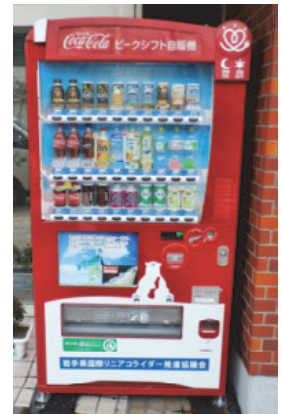
(5) 広報活動

①「ILC 誘致実現支援自動販売機」の継続設置

みちのくコカ・コーラボトリング(株)様のご協力を得て、売上の一部が ILC の誘致実現の活動（当協議会の活動等）に寄付される自動販売機を県内 3 か所に継続して設置。



盛岡市（マリオス 3F）



奥州市

②PR 用うちわの作成（図柄新規）・配布

宮城県と連携してデザインを刷新し、岩手県、宮城県、県内自治体と共同で PR 用うちわを約 15,000 本作成し、各地のイベントにて配布した。

③PR 年賀状の作成

岩手県印刷工業組合・盛岡広域振興局・盛岡中央郵便局と協力し、28,000 枚を印刷・販売。



④周知用ポスター、地形ジオラマの展示・貸出

これまでに作成した広報用ツールを活用し、各種イベント等に展示（VACUUM2017 真空展等）を実施。

⑤イメージキャラクター「ILC そばっち」の活用

ILC への親しみやすさや岩手県が候補地であるイメージの醸成のため、平成 27 年度に作成。

当協議会員等関係機関にて広報物（名刺）等への利用がなされた。



PR 用うちわ（むすび丸×そばっち）



北上サイト候補地のジオラマ

(6) 諸会議等

■役員会

①第1回役員会（※終了後、山下先生による講演会を開催）

平成29年6月8日（木）13:15～13:40／於：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

議事：(1) 平成28年度事業報告並びに収支決算について

(2) 平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

(3) 平成29年度要望(案)について

■幹事会

①第1回幹事会

平成29年6月1日（木）11:00～11:50／於：盛岡商工会議所

議事：役員会提出議題について

②第2回幹事会

平成29年11月20日（月）11:00～11:50／於：盛岡商工会議所

議事：上半期事業進捗状況報告等

■監査会

平成29年6月1日（木）10:30～11:00／於：盛岡商工会議所

平成28年度会計監査について

(7) 会員加入状況（平成30年3月31日現在）

合計 603 会員（法人・団体会員 525 会員、個人会員 78 会員）

* 17 会員増（法人等 14、個人 3）：年度当初 586 会員（法人等 511、個人 75）

地域		法人・ 団体	個人	計	地域		法人・ 団体	個人	計
県内	盛岡市	187	28	215	県内	平泉町	4	1	5
	宮古市	5	1	6		住田町	2	0	2
	大船渡市	31	1	32		大槌町	1	0	1
	花巻市	38	4	42		山田町	2	0	2
	北上市	40	9	49		岩泉町	2	0	2
	久慈市	13	4	17		田野畑村	2	0	2
	遠野市	6	3	9		普代村	2	0	2
	一関市	42	6	48		軽米町	1	0	1
	陸前高田市	8	1	9		野田村	2	0	2
	釜石市	13	2	15		九戸村	1	0	1
	二戸市	3	0	3		洋野町	2	0	2
	八幡平市	3	0	3		一戸町	2	0	2
	奥州市	50	8	58		宮城県	仙台市	5	2
	滝沢市	8	1	9	気仙沼市		1	0	1
	雫石町	5	0	5	大衡村		1	0	1
	葛巻町	2	0	2	秋田県	横手市	0	1	1
	岩手町	3	0	3		にかほ市	0	1	1
	紫波町	2	2	4	青森県	六ヶ所村	1	0	1
	矢巾町	21	1	22	茨城県	日立市	0	1	1
	西和賀町	2	0	2	東京都	中央区	2	0	2
金ヶ崎町	8	1	9	神奈川県	横須賀市	1	0	1	
				長崎県	諫早市	1	0	1	
				合計		525	78	603	

平成29年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支決算書

自)平成29年 4月 1日

至)平成30年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項 目	決算額	予算額	対比増減(△)	備 考
1. 会費	11,815,000	11,760,000	55,000	
(1)法人会費	11,420,000	11,360,000	60,000	予算:528会員/568口 → 決算:519会員/571口
(2)個人会費	395,000	400,000	△ 5,000	予算:80会員/80口 → 決算:70会員/79口
2. 負担金	1,152,000	500,000	652,000	
(1)負担金	500,000	500,000	0	@100,000×経済5団体
(2)国際会議負担金	652,000	0	652,000	ILD meeting2018 一関市、奥州市
3. 雑収入	2,346,804	484,277	1,862,527	サイエンス×キティグッズ代104万、懇親会費56万 寄附金(みちのくコカ・コーラ共生会)14万、 ILCうちわ代55万、決算利息 ほか
4. 繰越金	1,155,723	1,155,723	0	
合 計	16,469,527	13,900,000	2,569,527	

■支出の部

(単位:円)

項 目	決算額	予算額	対比増減(△)	備 考
1. 事業費	9,993,642	10,900,000	△ 906,358	真空展出展支援費 36万 ILD meeting2018に係る事業費・支援費 135万 イノベーション・経済波及効果調査費 71万 サイエンス×キティグッズ代 98万 シンポジウム等開催費 72万 マインツ大齋藤先生巡回授業 68万 HP運営管理費 43万 / 関係団体会費 12万 報告書等印刷費 51万 東北ILC準備室負担金 100万 AAA訪米プロジェクト負担金 100万 調査・事業関係旅費等 72万 サイエンスシンポジウム等イベントブース関連 19万 ラッピングトラックデザイン代 15万 年賀はがき・うちわデザイン代 65万 …ほか
2. 会議費	110,672	250,000	△ 139,328	役員会・幹事会開催費
3. 事務費	1,686,540	2,000,000	△ 313,460	
(1)旅費	104,060	350,000	△ 245,940	関連団体総会等参加費
(2)印刷費	141,448	150,000	△ 8,552	資料コピー代、封筒代ほか
(3)通信運搬費	241,032	300,000	△ 58,968	事業報告書・加入依頼状・広報物等配送料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	121,909	150,000	△ 28,091	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	0	600,000	△ 600,000	
合 計	11,912,763	13,900,000	△ 1,987,237	

次年度繰越

4,556,764

貸 借 対 照 表

平成30年3月31日

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	4,556,764	流動負債	0
現金	0		
預金	4,556,764		
未収金	0		
固定資産	0	未処分剰余金	4,556,764
		当期剰余金	4,556,764
合 計	4,556,764	合 計	4,556,764

財 産 目 録

平成30年3月31日

■資産の部

(単位:円)

1. 現金	0
2. 普通預金	4,556,764 (岩手銀行)
3. 未収金	0

資産合計	4,556,764
-------------	------------------

■負債の部

(単位:円)

負債合計	0
-------------	----------

差引正味財産	4,556,764
---------------	------------------

平成 2 9 年度会計監査報告書

岩手県国際リニアコライダー推進協議会の平成 2 9 年度収支決算について監査をいたしましたところ、収入、支出ともに諸帳簿及び関係書類等と適合し、適正かつ正確に処理されていることを確認いたしましたので、ここに報告いたします。

平成 30 年 6 月 4 日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

監事 熊谷 敏裕



監事 菅原 和弘



岩手県国際リニアコライダー推進協議会 平成30年度事業計画（案）

平成29年11月、オタワ（カナダ）で開催された「国際将来加速器委員会（ICFA）」において ILC の建設を 20 km、エネルギー 250 GeV からスタートすることが国際承認され、日本のイニシアチブによる国際プロジェクトとして「ヒッグスファクトリー」である ILC を早期実現することを強く奨励するとの声明が発表された。

国内では文部科学省の「ILC に関する有識者会議」において、上記に沿って見直し計画案の取りまとめが行われ、国際的には日仏・日独との連携体制が構築された。

こうした国内外の活動状況を踏まえて、当推進協議会においても、イノベーション・経済波及効果調査結果の公表や、地元企業が ILC に関連する産業への参入機会の支援活動を行うとともに、ILC 実現の意義や ILC を契機とした世界とつながる地方創生を強く発信する普及啓発活動を継続的に行う。

特に、国民全体の盛り上がりは不可欠であり、ILC サポートーズ[※]などによる国民の参加活動などオールジャパン体制を推進し、ILC 実現にむけた要望活動を切れ目なく積極的に展開する。

ILC を国際プロジェクトとして進めるには、次期「欧州素粒子物理学 5 か年戦略」に盛り込まれることが不可欠であることから、本年が ILC 誘致の正念場であり、政府が早期の誘致判断をくだすよう岩手県、ILC 関係団体とともに万全を期して取り組む。

※ILC サポートーズは、「ILC」の誘致を実現するため、各界の有志によって平成30年4月に結成された応援組織。
ILC プロジェクトの意義と認知度上げるため SNS を活用し活動。

（１）調査・研究活動

■イノベーション・経済波及効果調査報告

ILC 実現へむけ、国民の理解醸成を図るため、ILC 建設の多面的効果を踏まえた経済波及効果の結果を国や地方の成長戦略に位置づけられるよう要望活動等に積極的に活用するとともに関連する産業・企業等の積極的なイノベーションの創出に努めていく。

■岩手県、東北 ILC 準備室、いわて加速器関連産業研究会と連携して、ILC への加速器産業等参入機会の創出やネットワーク構築の支援に取り組む。

■大型加速器研究施設 CERN 等 ILC 関連施設視察の実施。

（２）国内・外への ILC 実現にむけた活動

■国内 PR の強化

岩手県、高エネルギー加速器研究機構（以下 KEK と略）、先端加速器科学技術推進協議会（以下 AAA と略）、東北 ILC 推進協議会（東北 ILC 準備室）等で構成される ILC 広報戦略会議の一員として、より一層国民の理解促進に努める。

ILC ポータルサイト（ILC プロジェクト）による情報発信や ILC サポートーズ活動、ノーベル賞受賞者によるシンポジウムの開催支援など ILC 関連イベントの企画・実施を積極的に推進するとともに ILC グッズ等により、PR を強化する。

■東北 ILC 準備室の活動

「ILC に関する東北マスタープラン」を踏まえ、関係機関との連携強化を図り、検討を進める。また、マスタープランの具体的なアクションプランを策定するとともに、実践に着手する。

■海外での活動

リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟（議連）、KEK、AAA 等との連携による国際交渉に参加し、地元の熱意や受け入れ態勢整備状況について発信するなど国際交渉を支援する。

■海外への情報発信強化

研究者の視察受入の機会や海外関係者の来県機会を有効に活用し、海外への情報発信に努める。

当推進協議会 HP 内「THE KITAKAMI TIMES」等を活用して ILC 実現に取り組む協議会事業や北上サイトの魅力など世界にむけて積極的な情報発信を行う。

■普及啓発活動

小・中学生を対象としたセミナー、岩手県が主催するサイエンスシンポジウム〔7 月盛岡市、10 月久慈市〕に関係団体と連携して出展を行い、県民に対する幅広い啓発活動を行う。

■岩手県 ILC 連携室オープンラボ活用支援

ILC の情報発信拠点、ILC を契機とした産業、人材育成、研究開発の拠点として、平成 30 年 4 月に岩手県先端科学技術研究センター内に開設。関連産業の参入を目指す事業者や学生などを対象に啓発活動を行っており、積極的な活用の支援を行う。

（3）要望・提言活動

■岩手県、東北 ILC 推進協議会等と連携した要望活動を行う（6 月 8 日）。

■岩手県国際リニアコライダー推進協議会としての要望活動を行う（6 月下旬～7 月上旬）。

■政産官学連携による要望活動を行う。

（4）組織強化活動

■ILC 実現にむけた活動を強化するため、当推進協議会の会員増強に努める。

■地元大学・地元企業との産学官連携の強化を図る。

■岩手県、関係市町村、KEK、AAA、東北 ILC 推進協議会（東北 ILC 準備室）との連携を強化する。

平成30年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支予算(案)

自)平成30年 4月 1日

至)平成31年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備 考
1. 会費	11,900,000	11,760,000	140,000	
(1)法人会費	11,500,000	11,360,000	140,000	520会員／575口
(2)個人会費	400,000	400,000	0	80会員／80口
2. 負担金	500,000	500,000	0	@100,000×経済5団体
3. 雑収入	443,236	484,277	△ 41,041	懇親会費等
4. 繰越金	4,556,764	1,155,723	3,401,041	
合 計	17,400,000	13,900,000	3,500,000	

■支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備 考
1. 事業費	14,700,000	10,900,000	3,800,000	講演会等開催費:100万 マインツ大・齋藤先生特別授業:50万 経済波及効果調査報告書等費:100万 東北ILC準備室負担金:100万 AAA国際プロジェクト等負担金:300万 要望旅費:70万 HP管理費(日本語・英語):50万 事業報告書等印刷代:50万 AAA等関連機関調査事業旅費:70万 訪米デリゲーション費:150万 訪欧視察費:200万 関連学会支援費:30万 県内イベント関連費:30万 北上サイト視察対応費:20万 諸会議・継続事業費:30万 岩手イベント等事業予備費:120万
2. 会議費	250,000	250,000	0	役員会・幹事会開催費
3. 事務費	2,000,000	2,000,000	0	
(1)旅費	350,000	350,000	0	視察・調査研究等事務局旅費
(2)印刷費	150,000	150,000	0	資料コピー代ほか
(3)通信運搬費	300,000	300,000	0	各種案内等配送料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	150,000	150,000	0	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	300,000	600,000	△ 300,000	
合 計	17,400,000	13,900,000	3,500,000	